



### 御旅社七夕祭のご案内

来月の七月六日〜七日の両日にわたって、茶屋町の御旅社にて、七夕祭を斎行致します。七夕は日本古来の天棚機比売（あめのたなばたひめ）の伝説と、大陸の牽牛織女（彦星と織姫）の伝説、また技芸上達を祈る乞巧奠の儀礼が相まって形作られた行事で、技芸の上達、恋愛成就を願う日とされ、笹に願い事を記した短冊を結び星に祈りを捧げました。

当宮の七夕祭は、京都の北野天満宮で七月七日に行われる「御手洗祭（みたらしさい）」に倣い、氏子崇敬者をはじめ参拝者みなさまの学問書道の上達、心身の清浄、諸願成就を祈願致します。当日は、夕方の午後四時から午後十時まで、短冊奉納（各色一枚百円）などの行事を執り行ないます。夏の夜に、それぞれのお願い事を胸に、どうぞお参り下さい。

名称 七夕祭(たなばたさい)

日時 平成三十年 七月六日(金)〜七日(土)

午後四時〜午後十時まで

場所 大阪市北区茶屋町十二番五号

網敷天神社 御旅社 境内

お問い合わせ 網敷天神社 御旅社まで

### 歯神祭のご案内

名称 歯神社例祭(通称 歯ブラシ感謝祭)

日時 平成三十年六月四日(月)午前十一時

場所 大阪市北区角田町二番八号 歯神社

(ねぎ焼きやまもと梅田エズト店 裏側)

備考 歯ブラシ授与は先着百名迄。

お問い合わせ 網敷天神社 御旅社まで

※神事前日から当日は準備等々に多忙の為、電話等のご対応はお受付出来ません。予めご容赦下さい。

### 御即位のはなし〜劍璽承継〜

平成の御代から新しき御代への御代替わりを控え、今月から来年四月まで、御即位に関するお話を掲載してまいります。

#### 劍璽等承継の儀

新しい天皇陛下となる瞬間はいつなのか。多くの方は、即位の礼がその瞬間とお思いかもしれませんが、公的にはこの劍璽等承継の儀が皇嗣が皇位を継承した瞬間とみなされます。

この劍璽等とは、三種の神器のうち、草薙剣を模した形代の御剣と、八尺瓊勾玉(神璽)、そして「等」とされるのは天皇陛下の印である御璽、日本国の印である国璽の事で、これらを受け継ぐので、劍璽等承継といい、こうして即位の礼を行う前に新しい天皇となった事を踐祚(せんそ)といいます。(昭和までは劍璽渡御の儀ともいい、新しき天皇陛下のもとへ、神器が自ずから渡るとされたので渡御の語が当てられていました)

また宮中三殿の賢所には、伊勢の神宮にある八咫の鏡の形代の御神鏡が納められており、先の劍璽と併せて、これら三種の神器が皇位の証とされ、これらが無ければ天皇としては認められませんでした。(南北朝の乱の折、北朝側は神器を持っていなかったので天皇としての正当性を認められませんでした)

この劍璽等承継の儀の初例は、当宮の御祭神であります嵯峨天皇さまの兄宮さまである、平城天皇さまの即位の時、実に一千二百年以上も昔から行われてきた儀式です。

今上陛下が御譲位され、今の皇太子殿下が皇位につかれる、そうした歴史の節目たる次代の劍璽等承継の儀は来年五月一日に執り行われます。

### 今月の暦

#### 【祭礼】

歯神祭(四日)：当宮末社の歯神社の例祭  
御誕辰祭(廿五日)：菅原道真公誕生日 神事のみ  
夏越大祓(三十日)：半年の罪穢を祓う 神事のみ

#### 【節気】

芒種(六日)：イネ科の種まきの頃  
夏至(廿一日)：一年で最も日中の時間が長い日

#### 【雑節】

入梅(十一日)：梅雨入りの頃。また梅の収穫期  
歯と口の健康週間(四日〜)：歯を大切に

#### 【大安】

六月三日、九日、十四日、二十日、二十六日

#### 【祝日】

なし

#### 【忌日】

沖繩慰霊の日(廿三日)：先の沖繩戦終結の日

### 網敷天神社 SNS、地図サイト

